

研究活動上の不正行為に関する調査結果について

経緯・概要

2019年4月22日、本学グローバル・スタディーズ研究科長から、同研究科の元学生であった者（以下、「対象研究者A」という）が作成した論文3編（英語論文。うち1編は博士学位論文）に研究活動上の不正（剽窃）行為の疑いがある旨、報告があった。これを受けて、本学では、「同志社大学における研究活動上の不正行為に関する規程」（以下、「研究不正対応規程」という。）に基づき調査を行った。このたび、調査結果を踏まえ、下記のとおり報告する。

調査体制

本学では、報告を受けて予備調査を行い、不適切な行為が行われた可能性はなかったと結論付けることができず、本調査を行うこととなり、学内外の委員で構成する専門調査委員会を設置した。

委員長 十河太朗 同志社大学大学院司法研究科 教授（内部委員）

委員 三重野文晴 京都大学東南アジア地域研究研究所 教授（外部委員）

委員 元治武史 弁護士法人浅田法律事務所 弁護士（外部委員）

調査期間 2019年7月9日～2019年11月25日（専門調査委員会による調査）

調査方法・手順

- ・ 報告内容の確認及び論文内容の精査
- ・ 専門調査委員会の開催
- ・ 関係者のヒアリング

調査結果

不正行為の疑いがあるとされた論文3編における当該箇所は、「同志社大学研究倫理規程」第10条第4項第3号にいう「盗用（他人のデータや研究成果等を適切な引用なしで使用）」に当たり、対象研究者Aによって、「研究不正対応規程」第2条第2項にいう「不正行為」が行われたと認定した。

その後、対象研究者Aの異議申立てに伴い、異議申立審査委員会（審査期間：2020年2月13日～2020年3月17日）がその妥当性を審査したが、異議申立てに理由がなく妥当性を欠くものであり、再調査を実施する必要はないとの結論となった。

不正行為が行われた経費について

対象論文の執筆において、直接的に関係する経費の支出は認められなかった。

本学がこれまでに行った措置の内容

対象研究者Aの当該不正行為は学生時代のものであるが、すでに修了しているため、「同志社大学学生の懲戒に関する規程」に基づく処分対象とはならない。

対象研究者Aに対して、学位論文以外の論文2編の取下げを、研究科長を通じて勧告した。

学位論文に関しては、学位の取消しについて、本学の「不正の方法により授与された学位の取消し手続きに関する内規」に基づき検討を行い、その結果学位の取消しが決定した。その後、対象研究者Aに対して学位の取消しの通知を行い、異議申立ての機会を与えたが、異議申立てがなかったため、学位の取消しが確定した。

発生要因

- ・本学では、2005年から「研究倫理規準」を定め、倫理規範を示してきた。その後、文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に従い、全学的に研究倫理教育に取り組み、研究不正の防止に努めてきた。
- ・対象研究者Aにおいては、母語ではない英語の論文において、語学力の関係から他人の文章を引き写し、その一部のみを加工するなどして自己の文章として使用する安易な態度が見受けられ、他者の文章を使用している自覚はありながら、不正に当たるかどうかの判断を自己が選んだ剽窃検知ソフトに委ねており、盗用等の研究不正に関する基本的な理解が不十分であったことが、本件不正事案の発生原因であると考えられる。
- ・不正行為は認定されていないが、3編の論文のうち1編の共著者である同研究科の元学生について、共著者でありながら論文の作成を漫然と対象研究者Aに委ね、内容の確認を行う等研究に対する真摯な姿勢が欠けていたことも一因と考えられる。

再発防止策

- ・研究倫理教育責任者である学部・研究科等の長が、各学問分野の特性も考慮しつつ、学生を含む各所属の研究者に対する研究倫理教育の取組を推進し、更なる研究倫理意識の向上に努める。
- ・学生の研究倫理教育において、特に留学生については、文化や言語の違いから理解が不十分である場合が考えられるため、個別研究の場合だけでなく、共同研究の場合におけるオーサーシップや共同研究者（論文共著者）の責任等を含む研究不正防止教育等、指導教員等から丁寧な教育を行うように努める。
- ・2018年度から、研究倫理向上ウィークを設け、講演会や各種セミナーを実施し、全学的な研究倫理の向上に努めている。今後は、これらの取組を一層充実させる。
- ・現在、研究論文の剽窃・盗用等、不正行為の防止および博士学位論文の指導を目的とし、剽窃検知アプリケーションの本格導入を行っている。これにより学生が論文を投稿する際に、指導教員等がチェックできる体制が整うことになった。なお、当該研究科では、指導教員等が、学位論文の提出前に必ず、チェックを行うこととした。

以上